KDDI Business ID – Microsoft 365 連携設定マニュアル

ver. 2.7.0

KDDI 株式会社

目次

目次 1
第0章 本マニュアルについて 2
0.1. 初期設定手順の流れ 2
0.2. 事前確認事項 2
第1章 Step 1 - 開通～管理者初期設定 3
1.1. サービス開通のご案内メール 3
1.2. My KDDI Biz 総合 管理者ログイン 3
1.3. Microsoft 365 全体管理者 ID/パスワードの確認 4
第2章 Step 2 - Microsoft 365 SSO 設定 5
2.1. Microsoft 365 ドメイン設定 5
2.1.1. ドメインの追加 5
2.1.2. onmicrosoft.com ユーザの独自ドメインへの変更 5
2.1.3. 既定ドメインの確認／変更 6
2.2. SSO 設定と Microsoft Graph API 利用設定 6
2.2.1. Microsoft Entra 管理センターへアプリ登録（Part 1） 6
2.2.2. SSO 設定の登録 7
2.2.3. Graph API 向け証明書の発行 9
2.2.4. Microsoft Entra 管理センターへアプリ登録（Part 2） 10
2.3. SSO 有効化 12
第3章 Step 3 - ユーザ登録 15
3.1. セキュリティ設定 15
3.2. ユーザ登録 15
3.3. ユーザに Microsoft 365 サービスの紐付け 16
3.4. ユーザに Microsoft 365 ライセンス割り当て 17
第4章 Step 4 - Microsoft 365 サービス利用 18
4.1. ユーザの利用開始手順 18
4.1.1. ユーザ自身がパスワード設定する場合 18
4.1.2. 管理者がパスワードを設定した場合 18
4.2. サービス利用 18
4.2.1. 利用方法（ブラウザ） 19
4.2.2. 利用方法（PC アプリ／モバイルアプリ） 19
第5章 利用開始後の操作／設定変更について 22
5.1. ユーザ情報変更 22
5.2. ユーザの Microsoft 365 権限変更 22
5.3. ユーザの Microsoft 365 紐付け解除 22
5.4. ユーザ削除 22
5.5. ユーザの連携状態について 23
5.6. SSO 設定の変更 23
5.7. SSO 無効化 24
第6章 Microsoft 365 設定の補足 27
6.1. サブドメインをルートドメインに変更する 27
更新履歴 31

第０章　本マニュアルについて

本マニュアルでは「KDDI Business ID」にて「Microsoft 365」のシングルサインオン(以下、SSO)を利用するために管理者さまに実施いただく設定手順について記載しています。

０.１.　初期設定手順の流れ

初期設定手順は大きく分けて以下の４段階となります。

Step 1：開通～管理者初期設定
Step 2：Microsoft 365 SSO 設定
Step 3：ユーザ登録
Step 4：Microsoft 365 サービス利用

以降の章で、各 Step の詳細な設定手順を記載致します。順にすべて実施いただくことで、「KDDI Business ID」の認証経由で「Microsoft 365」を利用できるようになります。

０.２.　事前確認事項

初期設定手順を実施いただく前に、以下を必ずご確認ください。

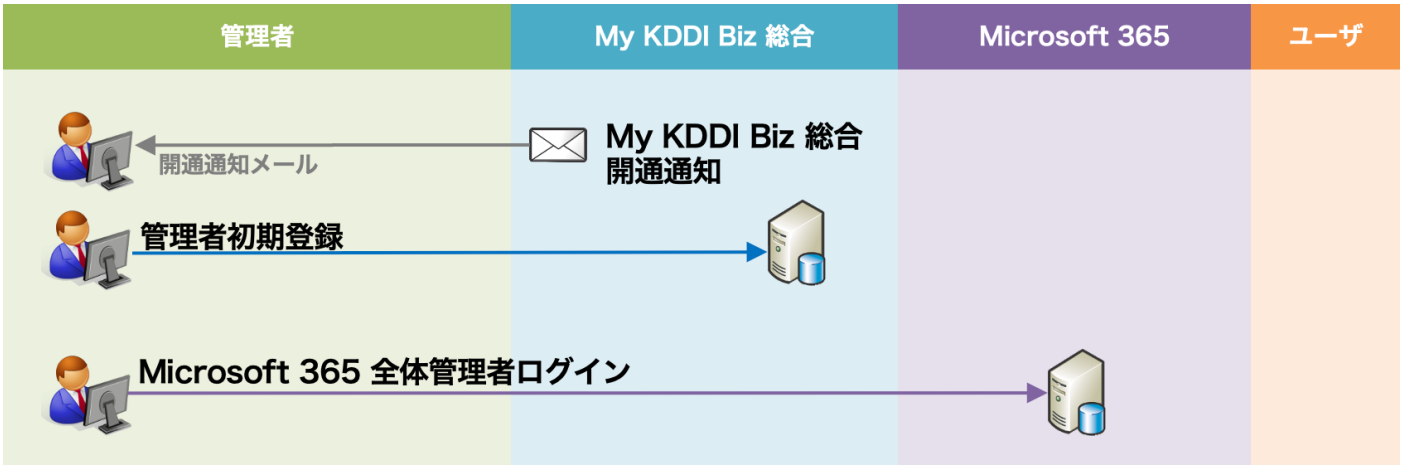
- SSO 用の独自ドメインをご用意いただき、DNS 設定可能な状況である必要があります。
  ※独自ドメイン：xxx.onmicrosoft.com ではなく、例えば kddi.com 等の企業固有のドメイン

- 本マニュアルは、『KDDI Business ID 設定マニュアル』の別紙の位置づけとなります。『KDDI Business ID 設定マニュアル』内で記載している手順については、本マニュアルでは記載を割愛している場合がありますので、両マニュアルを併せてご確認いただくようお願いいたします。

- 本マニュアルにて記載している「Microsoft 365」の管理者画面の手順および画面イメージは、今後「Microsoft 365」サービス側にて変更される場合がありますのでご了承ください。

第 1 章　Step 1 - 開通～管理者初期設定

Step 1：開通～管理者初期設定の詳細手順について説明します。



1.1.　サービス開通のご案内メール

新規に「KDDI Business ID」をお申し込みいただくと、申込書に記載の管理者メールアドレス宛に「My KDDI Biz 総合」より開通通知メール(初期設定のお願いメール)が届きます。

メール送信元：**mail-bizportal@mail.bizportal.kddi.com**

メールが届いていることを確認したら、メール本文に記載されているワンタイム URL へアクセスし、パスワードの設定を実施してください。

【注意事項】メール内の URL には有効期限が設定されています

メールに記載されている URL は、送信日を含む 7 日間の有効期限を設定しています。期限が切れてしまった場合、ログイン画面の「パスワードを忘れた方はこちら」よりパスワード設定を実施してください。

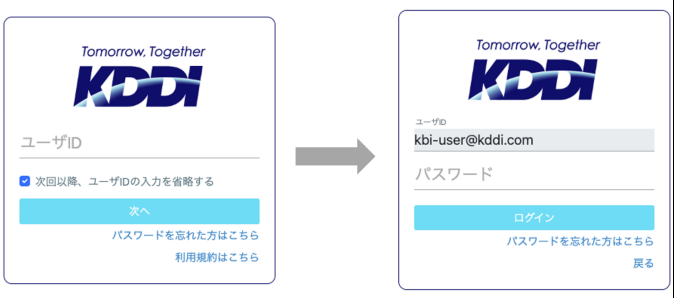
1.2.　My KDDI Biz 総合 管理者ログイン

「My KDDI Biz 総合」へログインします。

1. ログイン画面で、「ユーザ ID」を入力し 次へ をクリックします。

   URL：
   https://businessportal.kddi.com/

2. 次画面で「パスワード」を入力し Log in をクリックします。



3. ホーム画面が表示されます。	

1.3. Microsoft 365 全体管理者 ID/パスワードの確認

「Microsoft 365」を新規にご利用される場合は、「Microsoft 365」の管理コンソールへ全体管理者権限でログインできる状態にしてください。

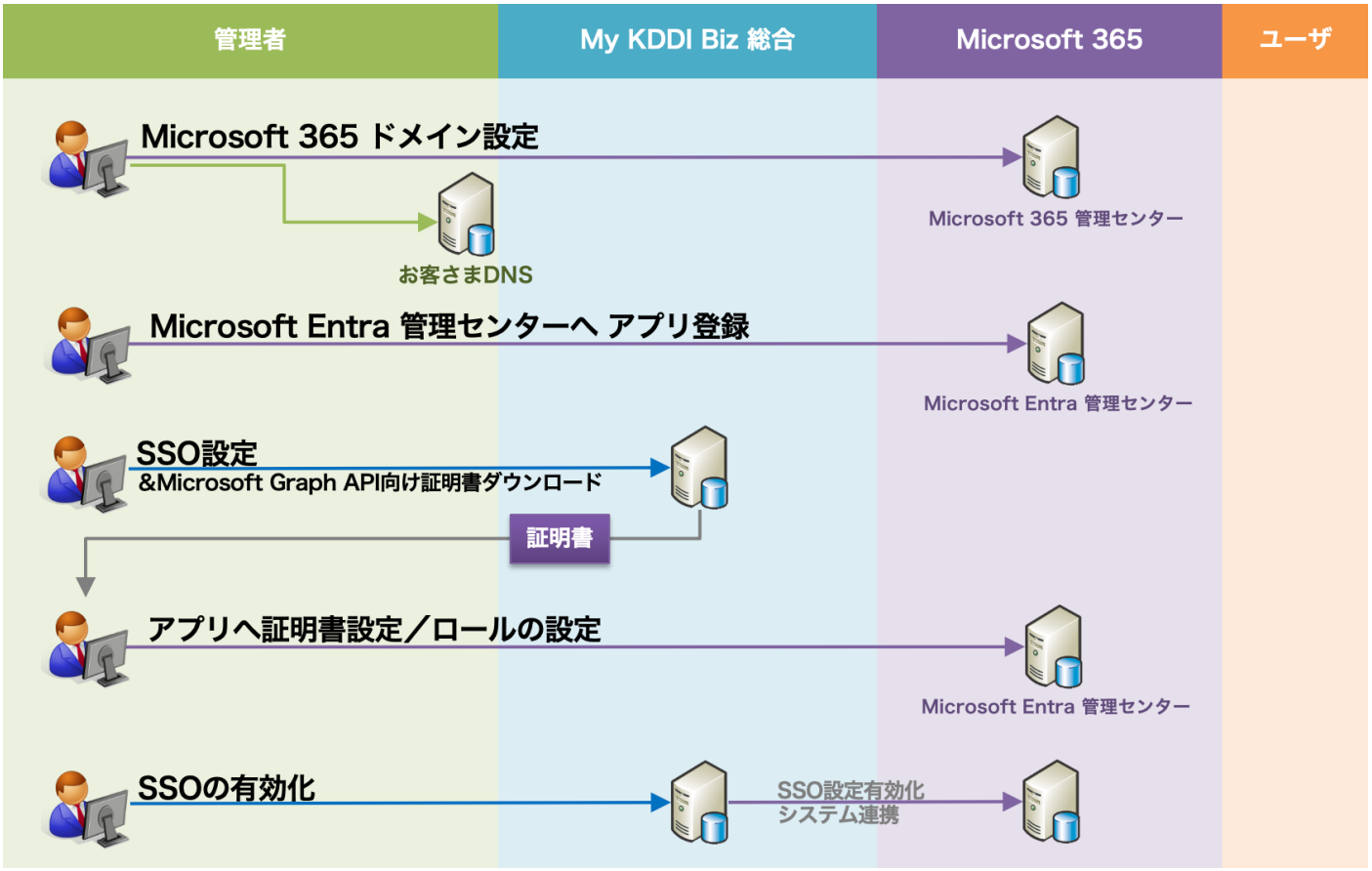
既に「Microsoft 365」をご利用中の場合は、全体管理者アカウント(xxx.onmicrosoft.com ドメイン)のID／パスワードをご用意ください。以降の手順で使用します。
※全体管理者アカウントは、独自ドメインへ移行しない ID を選択してください。

【注意事項】全体管理者アカウントについて

SSO を適用した独自ドメインのユーザは「Microsoft 365」へ直接ログインができなくなります。SSO 関連のログイントラブルが万が一発生した場合に「Microsoft 365」へ直接ログイン可能となるよう、xxx.onmicrosoft.com ドメインの全体管理者アカウントで設定を行うことを推奨します。

第 2 章　Step 2 - Microsoft 365　SSO 設定

Step 2：Microsoft 365 SSO 設定の詳細手順について説明します。



2.1.　Microsoft 365　ドメイン設定

「Microsoft 365」で SSO 用の独自ドメインを登録します。
※独自ドメイン：xxx.onmicrosoft.com ではなく、例えば kddi.com 等の企業固有のドメイン

2.1.1. ドメインの追加

「Microsoft 365」に独自ドメインを追加します。
※既に「Microsoft 365」へ独自ドメインを登録済の場合、本手順はスキップしてください。

以下 URL にて Microsoft 社が案内している手順を参照の上、お持ちの独自ドメインを追加してください。
https://learn.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/admin/setup/add-domain?view=o365-worldwide

2.1.2. onmicrosoft.com ユーザの独自ドメインへの変更

「Microsoft 365」の初期ドメイン xxx.onmicrosoft.com を使用して既にサービス利用中のユーザを独自ドメインに移行したい場合は、このタイミングでユーザー名およびメールアドレス変更を実施します（理由：SSO 設定有効後は「Microsoft 365」にて変更を適用できなくなる場合があるため）。
※xxx.onmicrosoft.com からの移行対象がいない場合、本手順はスキップしてください。

以下 URL にて Microsoft 社が案内している手順を参照の上、ユーザー名およびメールアドレスのドメインを独自ドメインへ変更してください。

https://learn.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/admin/add-users/change-a-user-name-and-email-address?view=o365-worldwide

2.1.3. 既定ドメインの確認／変更

SSO 用のドメインは「Microsoft 365」の仕様により「既定ドメイン」に設定できませんので、あらかじめ既定ドメインを xxx.onmicrosoft.com にしておく必要があります。

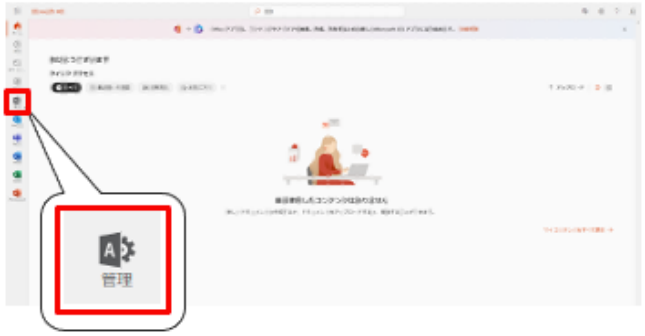
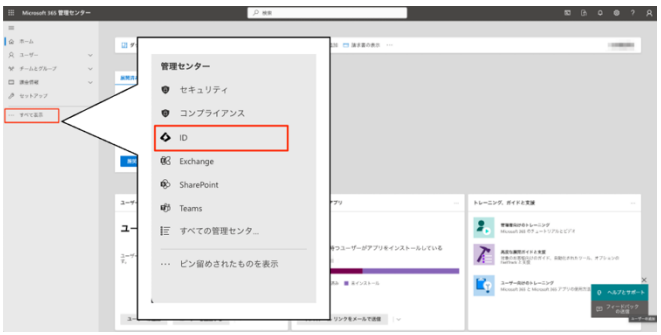
以下 URL にて Microsoft 社が案内している手順を参照の上、xxx.onmicrosoft.com ドメインを既定に設定してください（すでに既定になっている場合は変更不要）。
https://learn.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/admin/setup/domains-faq?view=o365-worldwide#microsoft-365----------
（FAQ「Microsoft 365 の既定のドメインを設定または変更するにはどうすれば良いですか?」を参照）

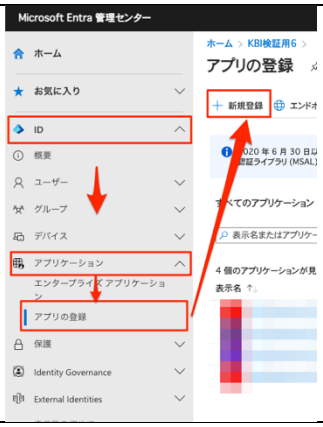
2.2. SSO 設定と Microsoft Graph API 利用設定

「Microsoft 365」と「KDDI Business ID」間で SSO および各種情報連携するための利用設定を行います。

2.2.1. Microsoft Entra 管理センターへアプリ登録（Part 1）

Microsoft Entra 管理センターへ「KDDI Business ID」のアプリ登録を行います。

1. 「Microsoft 365」に全体管理者アカウントでログインします。 2. 左のメニューから 管理 をクリックします。	
3. 左のメニューから すべて表示 をクリックします。 4. 管理センターの ID をクリックします。	

5. Microsoft Entra 管理センターの左メニューから ID → アプリケーション → アプリの登録 → 新規登録 をクリックします。	
6. 入力フォームに以下の内容を入力の上 登録 をクリックします。 名前： KDDI Business ID サポートされているアカウントの種類： この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント～ を選択 リダイレクト URI： (入力不要)	
7. アプリケーション (クライアント) ID および ディレクトリ (テナント) ID をコピーし、メモ帳アプリなどに貼り付けて保管します(後の手順で使用します)。 8. この画面(ブラウザタブ)は後の手順でまた使用しますので、閉じずに次の手順へ進んでください。	

2.2.2. SSO 設定の登録

「My KDDI Biz 総合」へ SSO 設定の登録を行います。

1. 2.2.1 のブラウザタブとは別のタブで「My KDDI Biz 総合」にログインし、サービス → SSO 設定 をクリックします。	

2. Microsoft 365 の 設定 をクリックします。

3. Microsoft 365 SSO 設定画面で 変更 をクリックします。

4. SSO 設定にて する を選択し、入力フォームに以下の内容を入力の上、 確認 をクリックします。

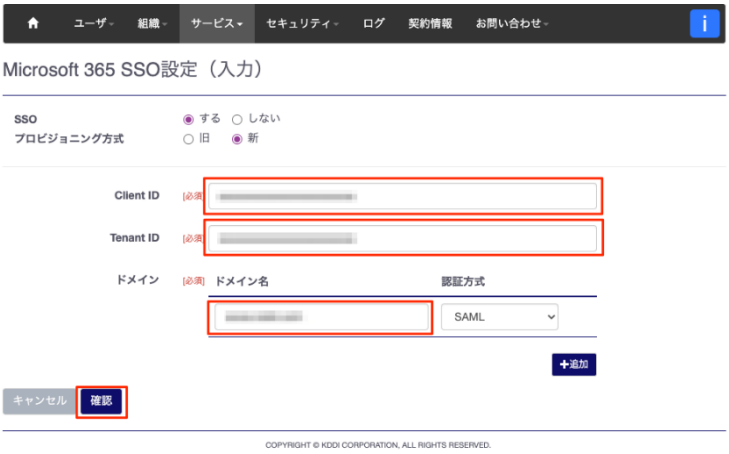
プロビジョニング方式：
「新」を選択

Client ID：
2.2.1 でコピーした「アプリケーション (クライアント) ID」を入力

Tenant ID：
2.2.1 でコピーした「ディレクトリ (テナント) ID」を入力

ドメイン：
ドメイン名：SSO 用の独自ドメインを入力
認証方式：SAML を選択してください。

※複数のドメインを設定する場合は、追加 をクリックしてください。



【注意事項】認証方式について

ドメインの認証方式について SAML か WS-Federation を選択可能となっていますが、方式により利用可能な機能／アプリが異なります。違いは下記ページを参照ください
https://bizcs.kddi.com/s/article/6168

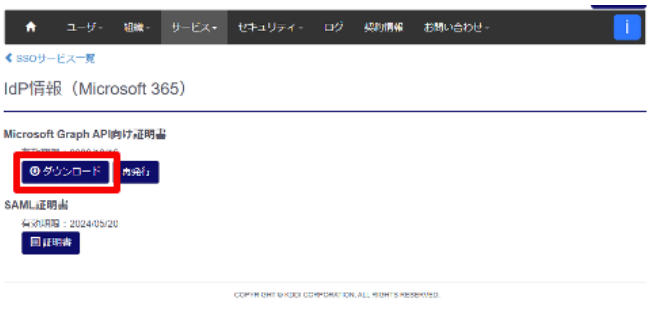
2022 年 9 月で Microsoft が Exchange Online の基本認証を廃止しました。それにより本サービスの WS-Federation 方式において利用可能な「Microsoft 365」アプリが皆無となりましたため、基本的には SAML を選択してください。
（2022 年 10 月以降、「KDDI Business ID」では WS-Federation の利用は非推奨となります。）

5. 表示されている内容に間違いがないことを確認し 完了 をクリックします。	

2.2.3. Graph API 向け証明書の発行

「My KDDI Biz 総合」にて Microsoft Graph API 向け証明書を発行します。

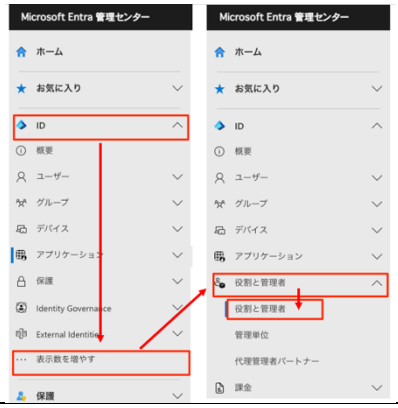
1. 「My KDDI Biz 総合」の管理者画面でサービス → SSO 設定 をクリックします。	
2. Microsoft 365 の IdP 情報 をクリックします。	
3. Microsoft Graph API 向け証明書の 発行 をクリックします。	

4. ダウンロード をクリックします。Microsoft Graph API 向けの証明書ファイルがダウンロードされますので、任意の場所へ保管します(後の手順で使用)。	

2.2.4. Microsoft Entra 管理センターへアプリ登録（Part 2）

Microsoft Entra 管理センターへ「KDDI Business ID」のアプリ登録(続き)を行います。

1. 2.2.1のブラウザタブへ戻ります。	
2. 証明書とシークレット をクリックします。 3. 証明書 タブをクリックします。	
4. 証明書のアップロード をクリックします。	

5. 2.2.3の手順でダウンロードしておいた Microsoft Graph API 向け証明書をアップロードし、追加 をクリックします。	
6. 左のメニューから ID → 表示数を増やす → 役割と管理者 → 役割と管理者 をクリックします。	
7. 検索窓に グローバル管理者 と入力し検索します。 8. 検索結果で、グローバル管理者 のロールをクリックします。	
9. 割り当ての追加 をクリックします。	

10. 右側の「割り当ての追加」の検索窓で、先のアプリの登録の手順で作成したアプリ名（本手順では「KDDI Business ID」）を検索し、選択して 追加 をクリックします。	

【注意事項】アプリ登録情報について

2.2.　で Microsoft Entra 管理センターに登録したアプリの Client ID／Tenant ID の情報を使用し「Microsoft 365」との連携を行います。2.2.　で登録した内容に誤りがある場合や、登録したアプリの情報を Microsoft Entra 管理センター側で変更／削除した場合、ユーザ情報が「Microsoft 365」へ正常に反映されませんのでご注意ください。

また、「My KDDI Biz 総合」にて Graph API 向け証明書を再発行した場合は、Microsoft Entra 管理センター側へ証明書をアップロードし更新する必要があります。

2.3.　SSO 有効化

「My KDDI Biz 総合」上の操作で「Microsoft 365」の SSO を有効化します。

【注意事項】有効化について

本手順で SSO を有効化すると、「Microsoft 365」側の SSO 設定が書き替わり、以後該当のドメイン配下の全てのユーザにおける「Microsoft 365」へのログインが SSO 必須の状態となります。

有効化の「Microsoft 365」側への反映には数時間程度かかる場合があります(Microsoft 社見解)。

【注意事項】サブドメインの SSO 設定方法について

ドメインを Microsoft 365 に登録する際に、あるドメイン（例えば kddi.com）とそのサブドメイン（例えば sub.kddi.com）の両方を登録しそれぞれ SSO 設定する場合、事前にサブドメインをルートドメイン化しておく必要があります。

手順については、6.1.　の「サブドメインをルートドメインに変更する」の章を参照ください。

1.　「My KDDI Biz 総合」にて サービス → SSO 設定 をクリックします。	

2. Microsoft 365 の 設定 をクリックします。

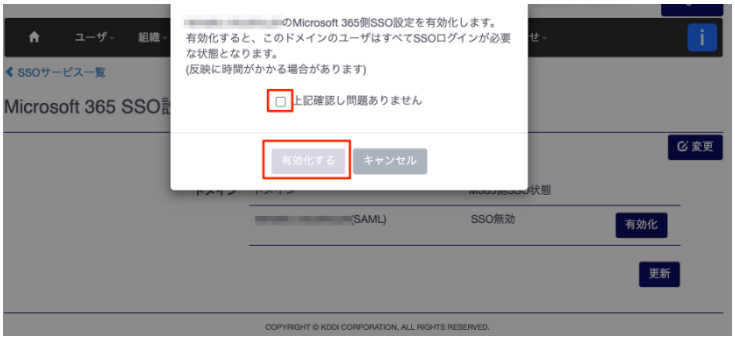
3. Microsoft 365 SSO 設定画面で 更新 をクリックします。

【注意事項】ドメイン情報について

2.1. で「Microsoft 365」側に登録したドメインの現在の情報を取得し表示します。取得できない場合、ここまでの手順が未完もしくは失敗している可能性がありますため、改めて設定をご確認の上再度お試しください。

4. SSO を有効にしたいドメインの 有効化 をクリックします。

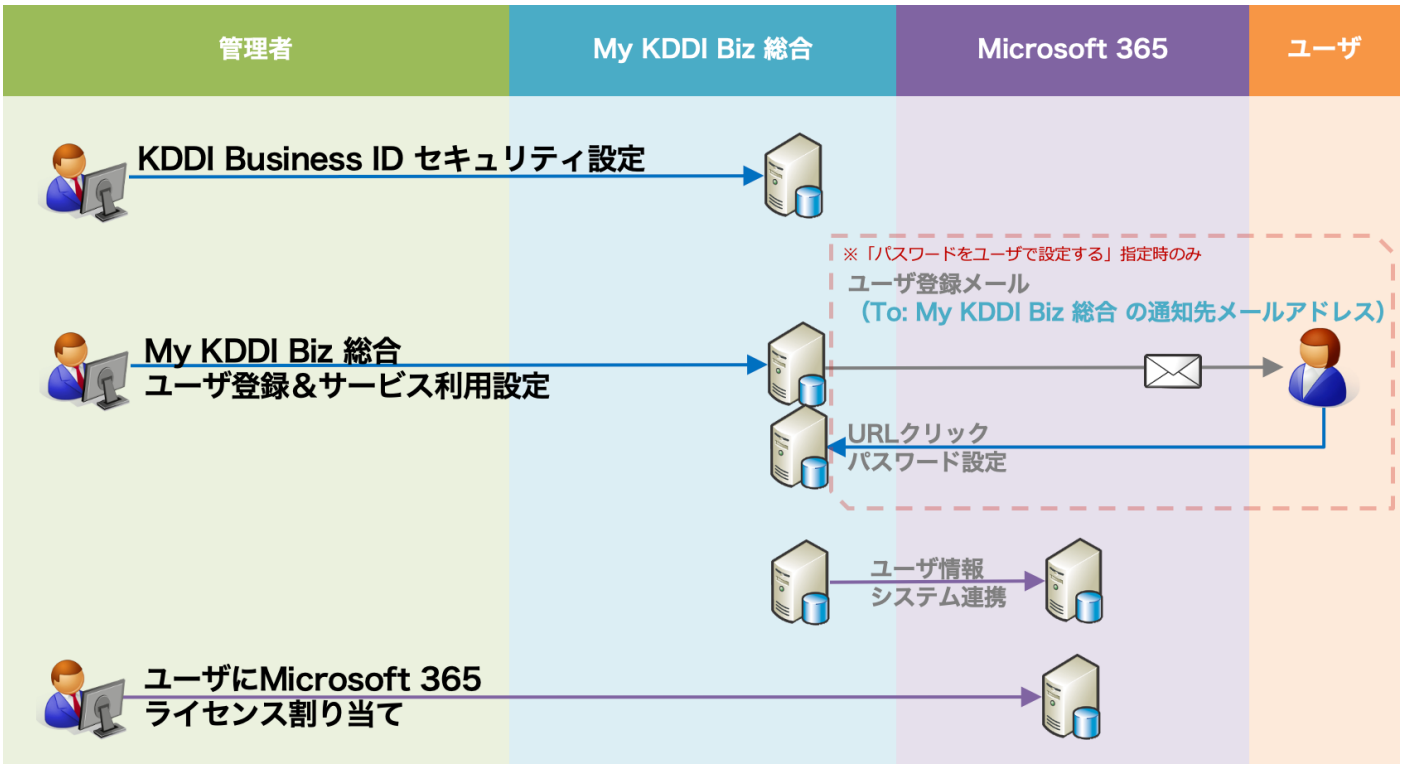
5. ダイアログの内容を確認し、問題なければチェックボックスを ON にし 有効化する をクリックします



6. M365 側 SSO 状態が「SSO 有効」と表示されていれば成功です。	

第 3 章　Step 3 - ユーザ登録

Step 3：ユーザ登録の詳細手順について説明します。



3.1.　セキュリティ設定

「KDDI Business ID」では IP アドレスによるアクセス制限が可能です。また多要素認証の適用やブラウザ制限の利用設定、パスワード強度の設定も可能です。

上記機能をご利用いただく場合、ユーザ登録の前にログイン条件の作成、IP アドレス登録、パスワード強度の設定などを行います。手順については、『KDDI Business ID 設定マニュアル』の「セキュリティ」の章を参照ください。

※この設定は後からでも実施できます。
※本機能を使用しない場合、手順をスキップしてください。

【注意事項】各種アプリの制限可能項目

「Microsoft 365」の各種アプリの制限可能項目については、以下のページに最新の情報を掲載しておりますので参照ください。
https://bizcs.kddi.com/s/article/6168

なお、ブラウザ制限機能については、「Microsoft 365」の各種アプリでの利用はできません。

3.2.　ユーザ登録

「My KDDI Biz 総合」に対し、「Microsoft 365」を利用するユーザの登録を行います。

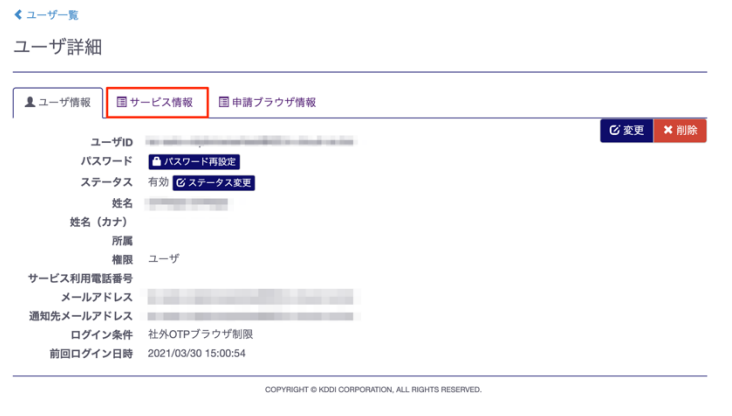
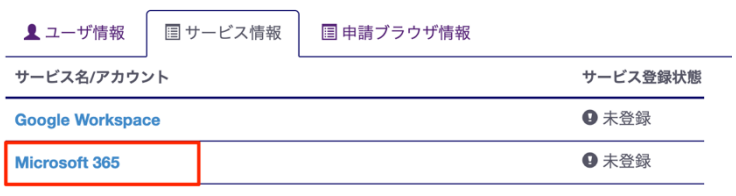
ユーザ登録の方法は以下の 2 種類が存在します。それぞれ記載のマニュアルを参照の上登録願います。

方法	説明	マニュアル
個別登録	・1 名ずつの登録	『KDDI Business ID 設定マニュアル』の「ユーザを追加する」

	・ユーザへのサービス紐付けは別途実施要	
一括登録	・複数ユーザを 1 度に登録可能 ・CSV による登録 ・ユーザへのサービス紐付けも同時に実施可	『KDDI Business ID 設定マニュアル』の「ユーザを一括追加・変更する」

3.3. ユーザに Microsoft 365 サービスの紐付け

「My KDDI Biz 総合」管理者画面より、各ユーザへ「Microsoft 365」サービスの紐付けを行います。

1. 「My KDDI Biz 総合」にてユーザタブより ユーザー一覧 をクリックします。	
2. 対象ユーザの ID をクリックします。	
3. サービス情報 タブをクリックします。	
4. Microsoft 365 をクリックします。	

5. 入力フォームに以下の内容を入力の上 確認 をクリックします。

アカウント(前半)：
「Microsoft 365」ユーザ ID の@より前の文字列

アカウント(後半)：
ドメインが複数ある場合、いずれかを選択

権限：
ユーザー／全体管理者／パスワード管理者／サービス管理者 のいずれかを選択

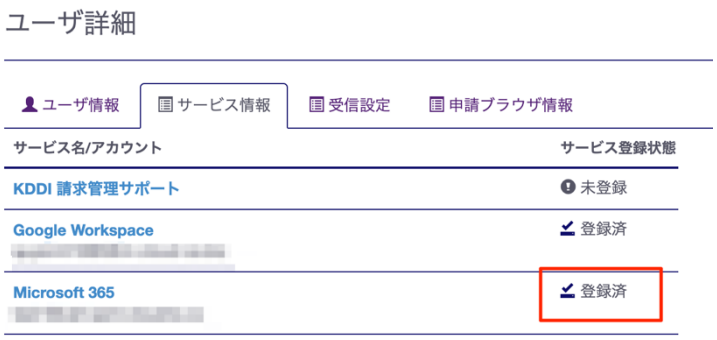
権限の詳細については、「Microsoft 365」のサポートページをご確認ください
https://learn.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/admin/add-users/about-admin-roles?view=o365-worldwide

6. 完了 をクリックします。

・姓／名／権限が「Microsoft 365」へ同期されます。
・「Microsoft 365」の『連絡用電子メール アドレス』に対し、「My KDDI Biz 総合」の『通知先メールアドレス』が同期されます。

7. サービス登録状態が「登録済」となったら完了です。

※1～7 の手順を対象のユーザ数分繰り返します。



【注意事項】登録エラーとなった場合

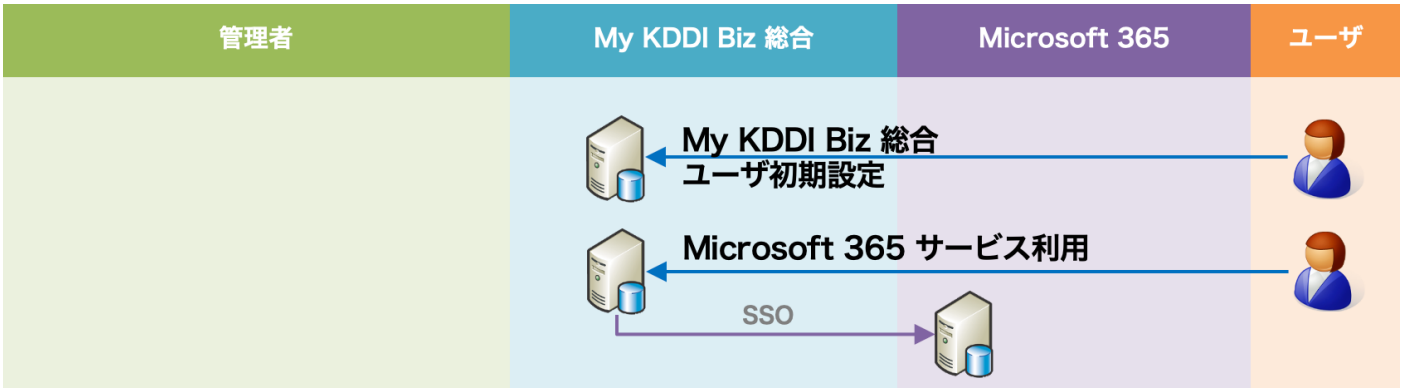
サービス登録状態が「登録エラー」となった場合、第２章　の設定が誤っている可能性があります。設定を見直し、一度紐付け解除後に再度登録を実施ください。

3.4.　ユーザに Microsoft 365 ライセンス割り当て

「Microsoft 365」の管理コンソールより、各ユーザへサービスのライセンス割り当てを行います。
実施方法については以下 URL にて Microsoft 社が案内している手順を参照ください。
https://learn.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/admin/manage/assign-licenses-to-users?view=o365-worldwide

第 4 章　Step 4 - Microsoft 365 サービス利用

Step 4：Microsoft 365 サービス利用　の詳細手順について説明します。



4.1.　ユーザの利用開始手順

管理者によって追加されたユーザが「My KDDI Biz 総合」を利用開始する際の手順です。

4.1.1. ユーザ自身がパスワード設定する場合

管理者によるユーザ追加時に、パスワード設定方法を「ユーザが設定」とした場合、メール送付する各ユーザの「通知先メールアドレス」宛に、パスワード設定メールが届いています。

メール送信元：**mail-bizportal@mail.bizportal.kddi.com**
メール題名：**【My KDDI Biz 総合】ユーザ初期設定のお願い**

各ユーザにてメール記載のワンタイム URL へアクセスし、パスワード設定を実施いただくようご案内ください。

【注意事項】メール内の URL には有効期限が設定されています

メールに記載されている URL は、送信日を含む 7 日間の有効期限を設定しています。期限が切れてしまった場合、ログイン画面の「パスワードを忘れた方はこちら」よりパスワード設定を実施してください。

4.1.2. 管理者がパスワードを設定した場合

管理者によるユーザ追加時、パスワード設定方法を「管理者が設定」とした場合、ユーザに対してメールは送信されません。管理者にて設定したパスワードを各ユーザへご案内ください。

4.2.　サービス利用

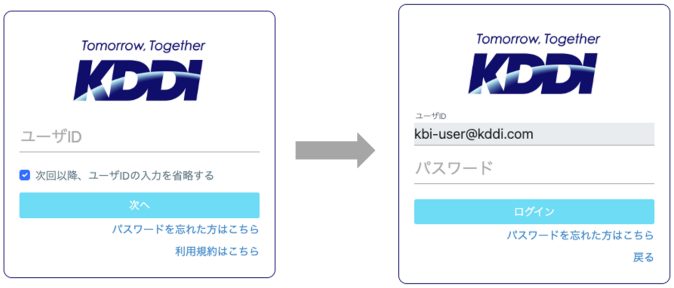
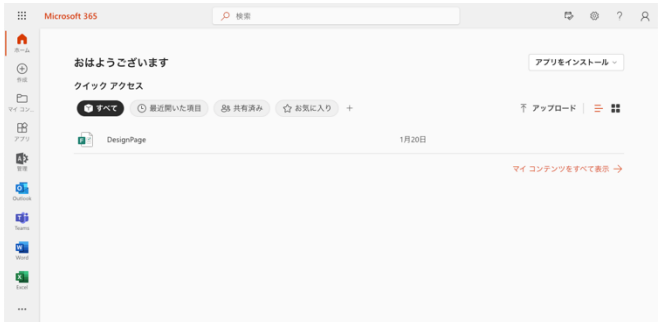
「KDDI Business ID」経由での「Microsoft 365」の利用方法です。

「KDDI Business ID」の認証を経由しての利用が可能な「Microsoft 365」アプリについて、以下のページに最新の情報を掲載しておりますので、ご参照ください。

利用可能アプリについて：
https://bizcs.kddi.com/s/article/6168

4.2.1. 利用方法（ブラウザ）

ブラウザからのアプリ利用方法です。

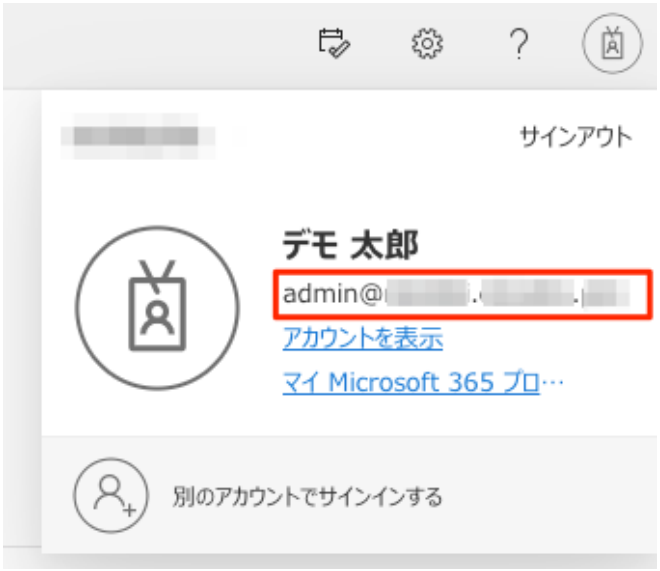
11. ログイン画面で、ユーザ ID および パスワード を入力し Log in をクリックします。 URL： https://businessportal.kddi.com/ （4.1.　で設定したパスワードを入力してください）	
12. メインメニューの Microsoft 365　をクリックします。	
13. 「Microsoft 365」のサービス画面が表示されます。	

4.2.2. 利用方法（PC アプリ／モバイルアプリ）

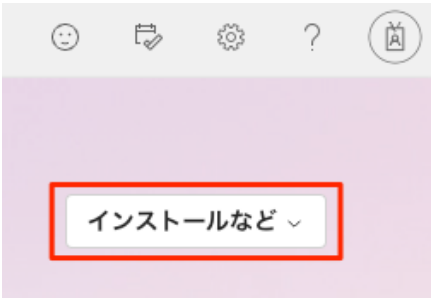
PC アプリ／モバイルアプリでの利用方法です。

1.　4.2.1 の手順で「Microsoft 365」にログインし、画面右上のアイコン をクリックします。	

2. 表示された ID をメモします。これが PC／モバイルアプリで利用する「Microsoft 365」のログイン ID となります。
（お客さま管理者の設定によっては「My KDDI Biz 総合」と ID が異なる場合もございますのでご注意ください）



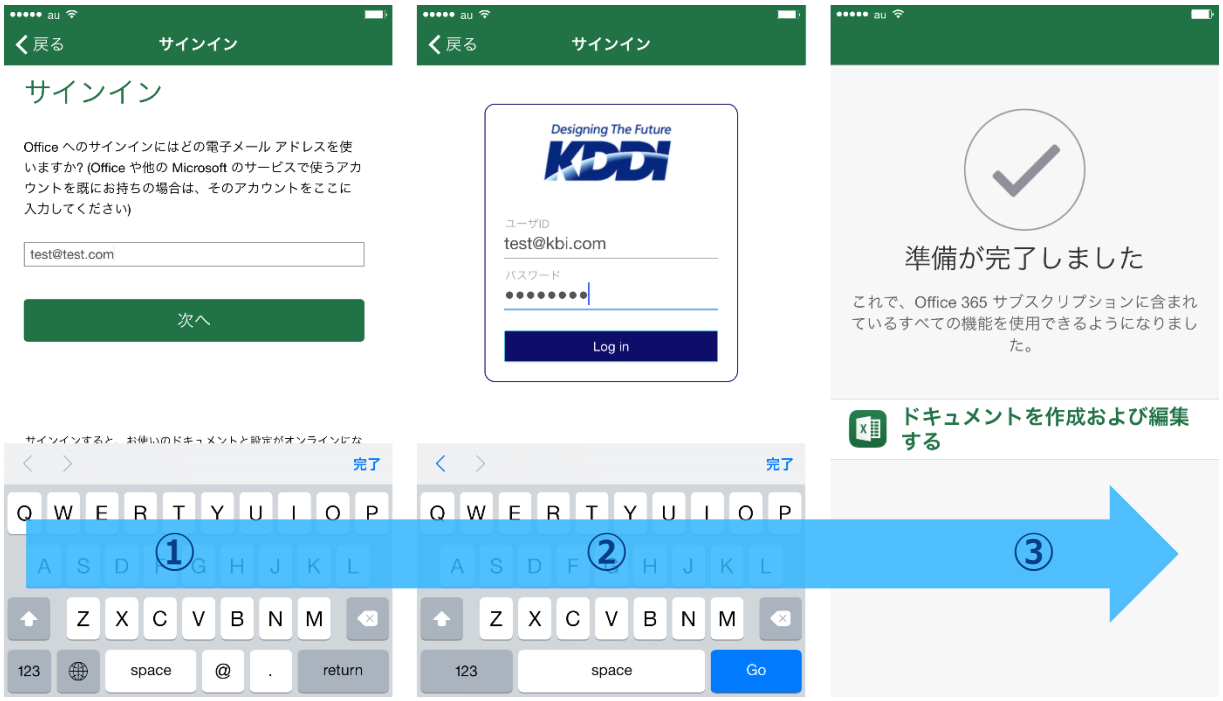
3. 各アプリを利用される場合は、「Microsoft 365」サービス画面にあるインストールメニューから導入を実施してください。



【ポイント】アプリログイン方法について

【認証方式：SAML　かつ Microsoft の先進認証対応アプリの場合】

PC／モバイルの各アプリでログインする際、基本的には下記の画面遷移となります



① アカウント入力画面にて上記手順 2.で確認した**「Microsoft 365」のログイン ID** を入力
② KDDI のサイトに遷移後、下記を入力
ユーザ ID ：**「My KDDI Biz 総合」の ID**
パスワード：**「My KDDI Biz 総合」のパスワード**
③ 認証完了

【先進認証非対応アプリの場合】

2022 年 9 月で Microsoft が Exchange Online の基本認証を廃止しました。そのため現在では先進認証非対応アプリでのログインは不可となっております。

【認証方式：WS-Federation かつ Microsoft 先進認証対応アプリの場合】

本サービスの WS-Federation は先進認証ではご利用いただけません。
2022 年 9 月で Microsoft が Exchange Online の基本認証を廃止しました。それにより本サービスの WS-Federation 方式において利用可能な「Microsoft 365」アプリが皆無となりました。
(アプリ内で立ち上がったウィンドウ内で Web ブラウザ版の 365 ログインが行われますが、アプリとしてのログインは完了しないため利用できません。)

【注意事項】Office 2016 等の古いアプリの利用について

Office 2016 等の古いクライアントでは、先進認証ログイン時に Internet Explorer 相当の Webview が起動するため、通常のログイン画面とは異なる表示となります。
また Internet Explorer 相当の Webview の場合、ID/パスワード認証とワンタイムパスワード認証以外の認証要素はご利用いただけません。

これで初期導入手順は完了です。

第 5 章　利用開始後の操作／設定変更について

ご利用開始後の各種操作／設定変更手順について説明します。

5.1.　ユーザ情報変更

ユーザの登録情報を変更するには、『KDDI Business ID 設定マニュアル』の「ユーザの情報を変更する」を参照してください。
下記の情報については、「Microsoft 365」へ連携されます。

連携元(KDDI Business ID ユーザ情報)	連携先(Microsoft 365 ユーザ情報)
姓	姓
名	名
通知先メールアドレス	連絡用メール アドレス

※ユーザ ID は変更できません。
※電話番号／部署等の情報は連携されません。

【注意事項】Microsoft 365 側で情報変更した場合

上記連携項目については「KDDI Business ID」の情報がマスターとなります。「Microsoft 365」側でも上記項目を変更することが可能ですが、次回のユーザ情報連携時に「KDDI Business ID」の情報に上書きされます。
また「Microsoft 365」側でユーザの ID／ドメインを変更した場合、以降のユーザ情報連携及び SSO が正常に動作しなくなる恐れがあります。

5.2.　ユーザの Microsoft 365 権限変更

ユーザのサービス紐付け情報を変更するには、『KDDI Business ID 設定マニュアル』の「ユーザに追加したサービスの情報を変更する」を参照してください。ユーザの「Microsoft 365」の権限を変更できます。

5.3.　ユーザの Microsoft 365 紐付け解除

ユーザのサービス紐付けを解除する手順については、『KDDI Business ID 設定マニュアル』の「ユーザに追加したサービスを削除する」を参照してください。

【注意事項】Microsoft 365 ユーザの連動削除について

「Microsoft 365」側のユーザ情報も連動して削除されます。削除後はメールデータなどを復元できなくなる可能性があります。「Microsoft 365」のユーザ情報を削除したくない場合は、削除確認画面で『Microsoft 365 側のユーザアカウントは削除しない』にチェックを入れてください。

5.4.　ユーザ削除

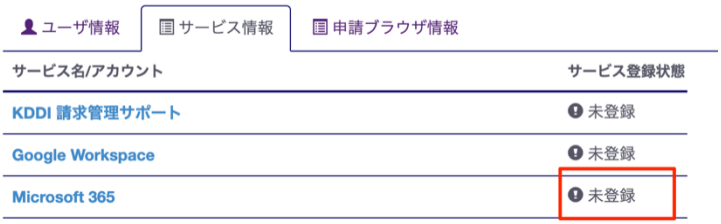
ユーザを削除する手順については、『KDDI Business ID 設定マニュアル』の「ユーザを削除する」「ユーザを一括削除する」を参照してください。

【注意事項】Microsoft 365 ユーザの連動削除について

「Microsoft 365」側のユーザ情報も連動して削除されます。削除後はメールデータなどを復元できなくなる可能性があります。「Microsoft 365」のユーザ情報を削除したくない場合は、削除確認画面で『Microsoft 365 側のユーザアカウントは削除しない』にチェックを入れてください。

5.5. ユーザの連携状態について

ユーザを「Microsoft 365」へ紐付け、情報を変更／削除したりすると、「Microsoft 365」側へ情報が連携されます。
ユーザ詳細画面にて、連携処理の状態(サービス登録状態)が確認できます。



サービス登録状態は、処理の状況に応じて下記の通り遷移します。

操作	マニュアル記載箇所	連携処理種別	サービス登録状態遷移
ユーザへ「Microsoft 365」サービスを紐付ける	3.3.	登録	処理前：「未登録」 処理中：「登録中」 処理成功：「登録済」 処理失敗：「登録エラー」
「Microsoft 365」連携済ユーザの情報を変更する	5.1.	変更	処理前：「登録済」 処理中：「変更中」 処理成功：「登録済」 処理失敗：「変更エラー」
「Microsoft 365」連携済ユーザの権限を変更する	5.2.		
「Microsoft 365」連携済ユーザのサービス紐付けを解除する ※「Microsoft 365 側のユーザアカウントは削除しない」チェック OFF 時	5.3.	削除	処理前：「登録済」 処理中：「削除中」 処理成功：「未登録」 処理失敗：「削除エラー」
「Microsoft 365」連携済ユーザを削除する ※「Microsoft 365 側のユーザアカウントは削除しない」チェック OFF 時	5.4.		

【注意事項】エラーとなった場合

登録エラー／変更エラー／削除エラーとなった場合、以下の可能性があります。
・第 2 章　の設定が誤っている
・第 2 章　で Microsoft Entra 管理センターに登録したアプリの情報が変更／削除された
・「Microsoft 365」側で何らかの問題が発生している
→設定を見直すか、「Microsoft 365」の問題について確認してください。

5.6. SSO 設定の変更

SSO 設定を変更したい場合は、下記の手順を実行してください。

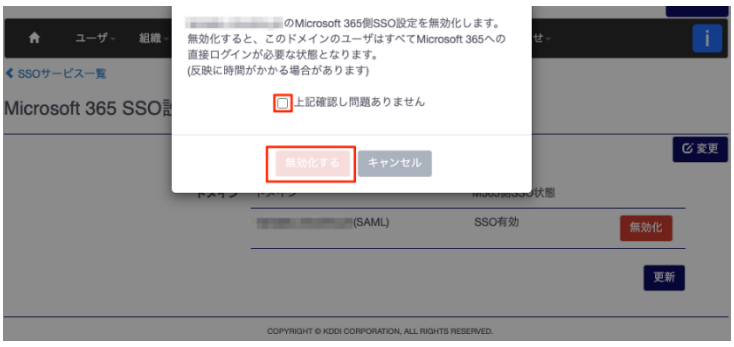
1. 「My KDDI Biz 総合」にログインし、サービス → SSO 設定 をクリックします。	
2. Microsoft 365 の 設定 をクリックします。	
3. Microsoft 365 SSO 設定画面で 変更 をクリックします。	
4. 変更内容を入力の上、 確認 をクリックします。 ※ドメインを削除する場合は、本手順の前に５．７． の手順で SSO を無効化してください。 5. 変更内容を確認の上、 完了 をクリックします。	

５.７． SSO 無効化

SSO を無効化したい場合は、下記の手順を実行してください。

【注意事項】無効化について

本手順で SSO を無効化すると、該当のドメインの全てのユーザの SSO が解除となり、「Microsoft 365」へ直接ログイン可能な状態となります。
無効化の「Microsoft 365」側への反映には数時間程度かかる場合があります(Microsoft 社見解)。

1. 「My KDDI Biz 総合」にて サービス → SSO 設定 をクリックします。	
2. Microsoft 365 の 設定 をクリックします。	
3. Microsoft 365 SSO 設定画面で 更新 をクリックします。	
4. SSO を有効にしたいドメインの 無効化 をクリックします。	
5. ダイアログの内容を確認し、問題なければチェックボックスを ON にし 無効化 をクリックします	

6. M365 側 SSO 状態が「SSO 無効」と表示されていれば成功です。	

第 6 章　Microsoft 365 設定の補足

Microsoft 365 の SSO 利用において必要となる MS 側設定手順の補足について説明します。
本章は Microsoft の公開している手順に基づいて記載しています。今後 Microsoft 側にて変更される場合がありますのでご了承ください。

6.1.　サブドメインをルートドメインに変更する

ドメインを Microsoft 365 に登録する際に、あるドメイン（例えば kddi.com）とそのサブドメイン（例えば sub.kddi.com）の両方を登録しそれぞれ SSO 設定する場合、事前にサブドメインをルートドメイン化しておく必要があります。

※サブドメインを登録しない場合、本手順は不要です。

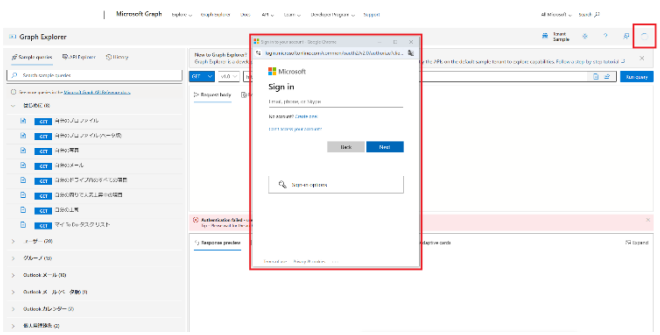
以下の手順でサブドメインをルートドメインに変更してください。

1.　「My KDDI Biz 総合」の管理者画面でサービス → SSO 設定 をクリックします。	
2.　Microsoft 365 の 設定 をクリックします。	
3.　Microsoft 365 SSO 設定画面で 変更 をクリックします。	

4. Tenant ID および ルートドメイン化したいドメイン名 をコピーし、メモ帳アプリなどに貼り付けて保管します(後の手順で使用します)。
※ドメイン未登録の場合は、２.２.２の手順で登録してください。

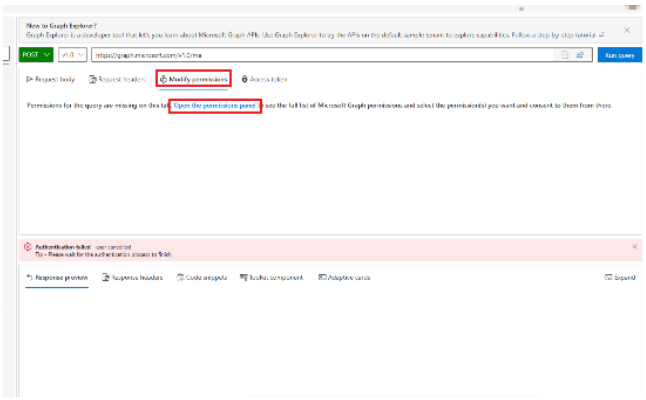
5. 下記 URL より Graph エクスプローラにアクセスします。
https://developer.microsoft.com/en-us/graph/graph-explorer

6. 右上の Sign-in をクリックして全体管理者アカウントでログインします。



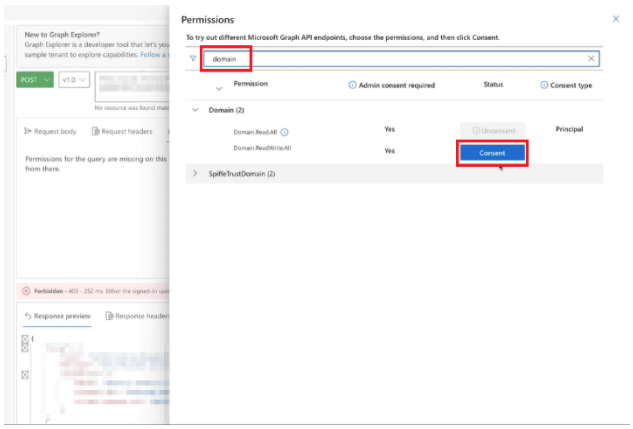
7. Modify Permissions タブをクリックします。

8. Open the permissions panel のリンクをクリックして Permissions のパネルを開きます。

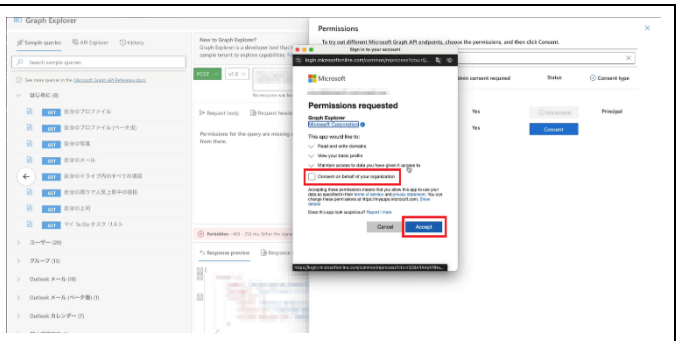


9. 検索欄に「domain」と入力します。

10. Domain の「Domain.ReadWrite.All」の項目の Concent をクリックします。



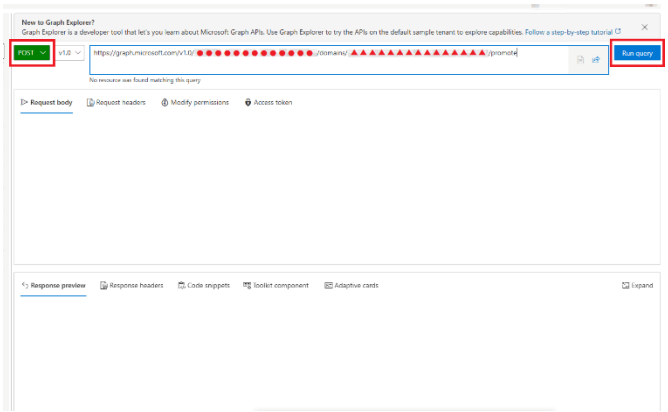
11. サインインのウィンドウが開いて Permissions requested の画面が表示されたら「Consent on behalf of your organization」のチェックボックスにチェックをつけて Accept をクリックします。



12. 「POST」を選択し、下記のクエリを入力します。

    https://graph.microsoft.com/v1.0/●●●●/domains/▲▲▲▲/promote

    ●●●●部分には手順４でコピーしておいた Tenant ID を入力します。
    ▲▲▲▲部分には手順４でコピーしておいたルートドメイン化したいドメイン名を入力します。



13. Run query をクリックします。

14. 「My KDDI Biz 総合」の管理者画面でサービス → SSO 設定 をクリックします。

15. Microsoft 365 の 設定 をクリックします。

16. Microsoft 365 SSO 設定画面で 更新 をクリックします。	
17. ルートドメインに変更したドメインの「M365側 SSO 状態」が問題なく取得できることが確認できたら完了です。	

参照：https://learn.microsoft.com/ja-jp/entra/identity/users/domains-verify-custom-subdomain

更新履歴

Ver.	更新箇所	更新内容
1.0.0	–	新規作成
1.0.1	第 2 章 冒頭 4.2	複数ドメインに対応
	2.2.6	設定値の修正手順を追記
1.0.2	全般	Office 365 既契約のお客さまに対する「KDDI Business ID」後付け契約に対応 Office 365 側管理画面の画像を最新のものに更新 各種記載の詳細化
	第 2 章	PowerShell コマンドの記載方式変更
	第 4 章	ユーザへのサービス紐付け時の Office 365 全権限指定に対応
1.1.0	全般	一部表記を他マニュアルと統一 SAML 対応に伴う記載変更／追加
	1.3／4.5	ログイン画面変更に伴う画像差替え
	1.4	機能名変更に伴う修正
	第 2 章	PowerShell 手順の簡略化
	第 5 章	設定変更手順を追加
1.2.0	全般	文言／画像を最新のものに更新
1.2.1	4.5.2	最新情報に更新
1.3.0	4.1	ユーザ一括追加・変更機能追加に伴う追記
	4.2	サービスメニュー階層化に伴う画像差替え
1.3.1	2.2.4 5.2	PowerShell コマンド追加
1.4.0	0.2／2.1	Windows PC 64bit 必須の旨追記
	1.3	全体管理者にライセンス不要の旨
	1.4	SAML 推奨の旨追記
	2.1.1	PowerShell インストールに関するツール名称及びリンクの変更
	2.1.2	PowerShell スクリプトのダウンロードメニューを変更
	3.1	アプリでブラウザ制限が利用できない旨追記
	4.4	パスワード設定方法による手順差分を明記
	第 5 章	ユーザの変更／削除手順を追記
	全般	文言／画像を最新のものに更新
2.0.0	全般	他マニュアルと体裁／記載レベルを統一
2.0.1	2.1.1	MS 社のモジュール提供廃止に伴い、インストール方法の参照先を変更
2.0.2	全般	軽微な修正
2.0.3	4.5.2	iOS11 以降の OS 標準メーラーに関する記載を追加
	5.7	SSO ドメインの変更に関する記載を追加
2.1.0	全般	SSO 設定画面変更に伴う画像差替え SSO 認証方式設定を 2.3. に統合
2.1.1	5.6	切り替え時間の記述を最新の情報に更新
2.2.0	全般	サービスの名称変更に従い、文言および画像を最新のものに更新
2.3.0	1.3	認証方式で SAML 選択推奨だったところを、原則 SAML 選択とするよう記載修正 基本認証終了および WS-Federation 利用の場合の注意事項を追記

	4.5.2	ログイン方法の記載を最新の情報に更新 (先進認証対応有無を明記、WS-Federation 利用の場合の注意事項を追記)
2.3.1	2.1.2	PowerShell スクリプトのブロック解除の方法を修正
	2.2.4	PowerShell スクリプト実行時にファイルの起動方法を修正
	4.3	Microsoft 365 サービスのライセンス割り当ての参照先リンクの変更
2.4.0	1.3	画面構成の変更に伴い、画像を最新のものに更新
	2.1.2	画面構成の変更に伴い、画像と説明を最新のものに更新
2.5.0	全般	章構成の見直し・章冒頭のフロー図更新 画像と説明を最新のものに更新 リンク先の URL を最新のものに更新
	0.2	独自ドメインに関する注釈を追記
	0.3	2022 年以前に連携設定を実施されたお客さまについて追記
	第 2 章	MSOnline PowerShell 廃止／Microsoft Graph 対応に伴う手順変更
	2.1／3.4	Microsoft 365 側手順部分について、Microsoft 社ページのリンク記載
	2.3／4.2.2	Exchange Online の基本認証終了に関する記載を更新
	4.1	記載を他マニュアルと統一
	5.6	SSO 設定変更の手順を追加
	5.7	SSO 無効化の手順を追加
	第 5 章	MSOnline PowerShell 廃止／Microsoft Graph 対応に伴い、古い手順を削除（従来の 5.6／5.7／5.8）
2.5.1	第 2 章	「Azure Active Directory 管理センター」が「Microsoft Entra 管理センター」になったことに伴う表記・画面イメージ・手順の更新
2.6.0	全般	サービス名リニューアル（KDDI ビジネスオンラインサポート → My KDDI Biz）に伴う変更 画像と説明を最新のものに更新
	0.3 第 5 章	MS Graph API 対応完了に伴い、2022 年以前に連携設定を実施されたお客さまについての記載を削除
2.6.1	4.2.2	Office 2016 等の古いアプリからのログインに関する注意事項を追加
2.6.2	3.3	画像を最新のものに更新
2.6.3	2.3.	サブドメインの SSO 設定方法についての注意事項を追加
	第 6 章 6.1.	サブドメインをルートドメインに変更する手順を追加
2.7.0	全般	サービス名リニューアル（My KDDI Biz → My KDDI Biz 総合）に伴う変更 画像を最新のものに更新